西東京市市民協働推進センター

平成30年度第4回運営委員会会議録(確定稿)

3 ■開催日時:平成30年7月17日(火)午後7時00分~8時00分

4 ■開催場所:イングビル3階第1、2会議室

■出席委員:海老澤委員、熊谷委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、佐藤(留)委員、鈴木委

員、田中委員、三好委員<以上9名、五十音順>

■事務局 : 小松センター長、鈴木副センター長、池田事務局長、山田地域福祉推進課係長

8

1

2

5

6

7

1.報 告 事 項

10 1. 業務報告について

11 事務局より、6月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状 12 況について説明があった。

13 委員:4番目の相談は相談者が登録団体となっているが、個人ではないのか。

14 事務局:登録団体が個人の方のフォローをしたいとのことで相談にきた。

15 委員長:つなぎ先がおやじの会限定なのはなぜか。民生委員へつなぐなどが一般的ではないか。

16 委員:相談者が考えたことだが、父親同士のつながりが欲しいとのことでおやじの会を紹介した。

17 民生委員などへの相談は終了しており次の段階として相談にきた。

18 委員長:放課後カフェの話題があるが当事者から様子を聞きたい。

19 副委員長:朝日新聞が取材にきたことにより問い合わせや見学など反響があり、いろいろな方に関心

20 を持ってもらった。

21 委 員:空き家セミナーの件だが、一般の方の参加があったのか。空き家の活用についてはどのよう 22 な話があったのか。市民活動に繋がる話があれば面白いかと思う。

事務局:市民の関心も高くほぼ満席であった。西東京市が初めて開催した空き家セミナーであり、NPO
法人空家・空地管理センターの講演であった。円卓会議のテーマであるので、協議事項で報

25 告する。

2627

2. 7月以降の事業について

事務局より、7月以降の実施事業について説明があった。特に質疑はなかった。

282930

2. 審 議 事 項

31 1. 前回の会議録について

32 委員長:質問、意見が特にないのであれば、前回の会議録は確定稿とする。

33 34

36 37

3. 協 議 事 項

35 1. センターの業務の執行に関する事項(重要事業の企画)について

事務局より、NPO 市民フェスティバル開催までの流れ、開催概要(案)について説明があった。

38 委員長:昨年度と変更した部分はあるのか。

39 事務局:地域活動・スタート説明会は例年日曜日に開催しているが、土曜日は来場者が若干少ないの

40 で集客も考え土曜日の開催を検討している。それに伴い、土曜日の展示パネルの数を若干増

- 1 やす提案もしている。また、以前は参加日を活動分野で分けていたが、今年度は団体の意見 2 を取り入れていきたいと考えている。
- 3 委員:会場の広さの都合で参加団体を調整しているのか。
- 4 事務局:出展できる数に限りがあるので、調整している。

5

- **6** 事務局より、まちづくり円卓会議(企画案)について説明があった。
- 7 委員長:今年度は新しいやり方での提案だが、意見はあるか。
- 8 委員:なぜこのテーマにしたのか。想定される成果を全て網羅するのは時間的に難しいのではない
- 9 か。また文言の抽象度が高いので、成果が見えにくく評価基準を教えて欲しい。
- 10 事務局:テーマだが、空き家に関しては、西東京市で実際に空き家問題を抱えている。来年度以降、
- 11 西東京市が空き家に関する協議会を作るなどの情報がある。西東京市にとっても地域課題で
- 12 あり、市民も現実を知る機会になると思った。引きこもりに関しても同様だが、西東京市に
- 13 も多く引きこもりがいると想定される。どちらも市民が集まり話す機会が必要であり、理解
- 14 してもらいたいテーマと考えている。円卓会議をきっかけに活動に繋がる出会いの場となれ
- 15 ば後方支援をしていきたい。そこに結び付けば評価につながるとは思うが、現時点では評価
- 16 の基準は決めていない。
- 17 委員:空き家は企業も興味があるのではないか。空き家を利用した地域のコミュニティビジネスも
- 18 広がりつつある。営利、非営利の枠を超えて話が広がれば良いと思う。開催スケジュールは
- 19 決まっているのか。
- 20 事務局:開催日のみ決定しているが、どちらがどのテーマになるかは調整中だ。
- 21 委員:6月に参加した研修では、空き家の活用紹介などヒントはあったのか。不動産的な活用なの
- 22 か、新しい提案での活用の仕方なのか、活用事例が出ていたのなら聞きたい。
- 23 事務局:空き家の活用ではカフェなど操業支援に利用するなどの話もあるが、相続トラブルにより空
- 24 き家となるケースだ。
- 25 委員長: 行政から見て空き家があることが課題なのか、活用してもらいたいことが課題なのか。
- 26 事務局:西東京市が出している報告書では相続が円滑にいかず、行政では空き家の相続者を追うこと
- 27 等の処理は税金がかなりかかり追いつかない。所有者は更地にするための費用と更地にした
- 28 とき税金が上がるため、対応できないことが多い。それを防ぐためにも終活として家の処分
- 29 に関しても家族間で話合いなどを行うことが大切で、それは市政全体にも関わってくるもの
- 30 である。
- 31 委員: いろいろな提案があるということである。実際に実現していくには時間もかかると思う。行
- 32 政とやりとりしたいと考える人たちが集まり、提言や考えを出していくのかと思う。テーマ
- 33 としてはとても必要なものである。

34

- 35 2. NPO を支援する事業・企画について (フリーディスカッション)
- 36 事務局より NPO を支援する事業・企画の現状と進め方について説明があった。
- 37 委員長:スケジュールだが、集まる日時が9月となっているが、案内を出すのか。
- 38 事務局:丁寧に議論して欲しいので、日時にはこだわらない。
- 39 委員長:9月の運営委員会でスケジュールを具体化していく。

- 1 副委員長:「企画を考える人募集!!」のタイトルには魅力がない。集まるグループの呼び名がある
- 2 と良いのではないか。呼ばれたら嬉しい愛称が必要だと思う。
- 3 委員:「みんなの夢叶え隊」も可愛いとは思う。
- 4 委員: 主体がどこになるのか分かりづらい。
- 5 事務局: 主体は(仮称) 自主企画委員のメンバーである。
- 6 委員: 運営委員会で一緒にやっていくことでよいのか。
- 7 事務局: そうだ。
- 8 委員:「みんなの夢叶え隊」は、みんなの夢で自分の夢ではない感じがする。
- 9 委員:自分達のゆめ叶え隊と思える。
- 10 委員長: それも含め委員会の愛称を募集する。8月末までにゆめこらぼへメールでお願いする。
- 11 委員:確認だが、まちのためにとか、みんなのためにが、自分のゆめとクロスすることがわかると
- 12 良い。まちづくりのための企画で自分の欲を満たすものではないが、自分の欲でもある。そ
- 13 のことを整理しないと隊の名前が出て来ないと思う。
- 14 委員長:団体単独ではできないが、団体ではこんな事をやりたいということは理解できる。
- 15 委員:「もっとまちを面白くしようよ!そのための企画を考えてみない?」となると分かりやす
- 16 い。ボランティアのビジョンマネージメントをする時は目標設定をし、その中で各々が出来
- 17 ることを集めていく柱が必要だ。ビジョンがありそれに対して自分ができることがあると分
- 18 かりやすい。
- 19 事務局: ゆめの柱になるものが文面にあることか。
- 20 委員:何のための企画作りかをはっきりさせる必要が大切である。
- 21 事務局: 運営委員会規定を読み直し検討する。
- 22
- 23 4. その他
- 24 1. 次回運営委員会日程について
- 25 日時:9月18日(火)19時~21時
- 26 会場:イングビル3階 第3,4会議室